

船舶事故調査報告書

平成29年12月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成29年7月23日 12時08分ごろ
発生場所	香川県小豆島町吉田漁港 吉田二等三角点から真方位190° 660m付近 (概位 北緯34° 33.4′ 東経134° 20.9′)
事故の概要	水上オートバイ ^{セノオ} SEN00は、発進した際、係留中のプレジャーボート ^{はるな} 榛名に衝突した。
事故調査の経過	平成29年7月28日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A プレジャーボート 榛名、5トン未満（9.07m） 271-26173岡山、個人所有 B 水上オートバイ SEN00、0.1トン 271-38910岡山、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、二級小型・特殊・特定 B 操縦者B、操縦免許 なし
負傷者	なし
損傷	A 右舷中央部外板に擦過傷 B 右舷船尾部外板に圧着痕
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南東、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期
事故の経過	A 船は、船長Aが1人で乗り組み、知人2人を乗せ、吉田漁港南部の棧橋先端付近に係留中の停泊船（以下「停泊船」という。）の後方に左舷着けで係留していた。 A 船は、船長Aが、左に回頭しながら接近するB船に気付き、身構えたのち、B船と衝突した。 B 船は、操縦者Bが1人で乗り、知人1人（以下「同乗者B」という。）を乗せ、遊走する予定で吉田漁港の錨泊場所から停泊船に向首する態勢で停船していた。 B 船は、発進する際、操縦者Bが、スロットルレバーを握り過ぎ、急加速したので、衝突を避けようとハンドルを左に切ったものの、約20～30km/hの対地速力で、その右舷船尾部が係留中のA船の右舷中央部に衝突した。 同乗者Bは、特殊小型船舶操縦免許を受けていなかった。
分析	A 船は、吉田漁港南部の棧橋先端付近に係留中、B船が衝突したものと考えられる。 B 船は、吉田漁港の錨泊場所から発進する際、操縦者Bがスロット

	<p>ルレバーを握り過ぎたことから、急加速し、A 船に衝突したものと考えられる。</p> <p>操縦者Bは、特殊小型船舶操縦免許を受けていなかったことから、水上オートバイを操縦してはならなかった。</p>
原因	<p>本事故は、B 船が、吉田漁港の錨泊場所から発進する際、操縦者B がスロットルレバーを握り過ぎたため、急加速し、吉田漁港南部の棧橋先端付近に係留中のA 船に衝突したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊小型船舶操縦免許を受けていない者は、水上オートバイを操縦しないこと。